

事務事業名	本会議等運営事業					☐ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連					
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	議会事務局		所属課	議会事務局			
施策名	18	開かれた議会づくり				所属係	議会班		課長名	緒方 明			
基本事業名	66	住民本位の議会運営				担当者名	大寫知加子		電話番号 (内線)	1313			
予算科目	会計 01	款 01	項 01	目 01	事業 01	議会運営事業					法令根拠	地方自治法・会議規則・委員会条例	
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 昭和22 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)												
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)							
(事業の内容) 年4回の定例会と臨時会に伴う各委員会や閉会中に開催される委員会の運営支援業務 (業務の内容) 定例会及び委員会の開催 ・開催期日等の年間予定を作成する。 ・議会運営委員会で会議日程及び会議の流れ等を決定する。 ・各委員長と協議し、委員会の開催を決定する。 ・執行部、市民等に開催内容の周知をする。 (予算の内訳) 報酬、費用弁償、役務費、備品購入費						総 投 入 量	事業 費	財 源 内 訳	国庫支出金				
									都道府県支出金				
									地方債				
									その他				
									一般財源				
事業費計 (A)										0			
正規職員従事人数													
延べ業務時間													
人件費計 (B)										0			
トータルコスト(A)+(B)										0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

定例会及び臨時会の予定は、議長及び執行部と協議を行った。
 定例会、臨時会及び各委員会の議事進行に関する資料を作成した。
 議員からの要請に基づく議題に関する調査や資料等の収集を行った。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

18年度と同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

議長
委員長
議員

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

会議規則等に則った、公正かつ円滑な議会運営が行える。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

市民の意見を反映した議会運営になっている。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 会議数	回
イ 議案数	議案
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 議長数	人
イ 委員長数	人
ウ 議員数	人

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 議員からの苦情の数	件
イ トラブル数	件
ウ	

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 市民の意見を反映した議会運営になっていると思う市民の割合	%
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

				単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22 年度 (最終目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円			128,479	100,662	100,662	100,662	100,662
	事業費計 (A)		千円	0	0	128,479	100,662	100,662	100,662	100,662	100,662
	人件費	正規職員従事人数	人			5	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間			3,820	2,600	2,600	2,600	2,600	
		人件費計 (B)	千円	0	0	15,165	10,322	10,322	10,322	10,322	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	143,644	110,984	110,984	110,984	110,984	
活動指標		ア	回			64	55	55	55	55	
		イ	議案			172	150	150	150	150	
対象指標		ア	人			1	1	1	1	1	
		イ	人			5	5	5	5	5	
成果指標		ウ	人			26	18	18	18	18	
		ア	件				0	0	0	0	
上位成果指標		イ	件				0	0	0	0	
		ウ	%								
		ア									
		イ									
		ウ									

合志市

事務事業名	本会議等運営事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	----------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和22年地方自治法が施行され、議会事務局が発足し議会活動の支援を行うことになった
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	地方分権による権限委譲が進み、また、多岐にわたる市民からの要望が請願・陳情として提出されることから、議案数が増加、それに伴い会議時間が増加の傾向にある
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市民から、定例会開催期間の短縮について意見があった

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 円滑な議会運営によって、議会の機能が発揮できる
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 地方自治法に基づき設置された議会であり、市が支援することは妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象、意図ともに妥当である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 議員、執行部がそれぞれ会議のルールを確認、遵守することで会議時間の短縮につながる
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 法、規則に定められた事務事業であり廃止・休止はできない
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 法、規則に定められた事務事業であり他に手段はない ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費はないため該当しない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 議員、執行部がそれぞれ会議のルールを確認、遵守することで会議時間の短縮につながる
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 受益者負担を求める事務事業に該当しない

合志市

事務事業名	本会議等運営事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	----------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括(振り返り、反省点)

議会の機能が、効率的・効果的に発揮されるため法令等に則った公正・円滑な会議運営に向けた支援が必要不可欠である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
- 会議時間、期間の短縮等のため、会議規則等の遵守を徹底する

(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下		×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

議員、執行部が、会議規則等の遵守を徹底する。

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
- ☐ 一部記述不足のところがある
- ☐ 記述は十分なされている

② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
- ☐ 一部に客観性を欠いたところがある
- ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

- ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり
- ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善)
- ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
- ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			×
	低下		×	×

(6) その他2次評価会議で指摘された事項